

# 町民説明会 R5.7.20

令和8年4月 開校に向けて

- ① 義務教育学校 導入の経緯
- ② 設計の概要
- ③ めざす学校像



# 1

## 義務教育学校 導入の経緯

なぜ、新しい学校整備を行うと判断したのか？

**時代の変化に対応**した  
教育環境を実現していくために

## 時代の変化とは？ そのことで生じている課題 <その1>

- 人口減少（少子高齢化、核家族化）
- 人間関係の希薄化（家庭環境、地域とのつながり）



- いじめ・不登校の増加、中1ギャップへの対応
- 指導者不足
- 部活動（チーム編成が困難になるなど）
- 学級編制（クラス替えができなくなる）

## 時代の変化とは？ そのことで生じている課題 <その2>

- インターネット技術、スマートフォンの普及
- グローバル化、人口知能の高度化



- 学習の高度化に向けた対応  
～ICT教育、小学校英語教育、プログラミング教育
- 専門性の高い授業に向けた指導体制の確保  
～小学校教科担任制の導入
- 学力向上・体力運動能力の向上(地域特有課題)

## 時代の変化とは？ そのことで生じている課題 <その3>

- 多様性、価値観の変化
- ライフスタイルの変化



- インクルーシブ教育への対応  
～障がいの有無に関わらず共に学ぶ仕組み
- 発達の早期化、LGBTQ(性的少数者の総称)への対応
- 教職員の働き方改革への対応  
～職場内環境、部活動の地域移行問題など



## 時代の変化とは？ そのことで生じている課題 <その4>

- 食の安全、地産地消への関心
- SDGsへの対応



- アレルギー食対応（調理場の改善）
- 地域産業とのつながり
- 環境教育の推進
- エネルギー消費量の削減（省エネ施設）

**時代の変化に対応した**  
教育環境を実現してくために



- ア、義務教育 9 年間の**発達段階を踏まえた一貫性**のある教育活動を推進
- イ、アと合わせた**学校施設の改善**  
～50年前に設計された施設の限界



小中一貫  
教育の  
推進

現状  
維持

1人の校長  
1つの教職員組織

柔軟な  
学年編制が可能

教員免許は  
小中の両方必要

A  
義務教育学校  
(一体・分離)

B  
小中一貫型  
小学校・中学校

C  
小学校  
中学校

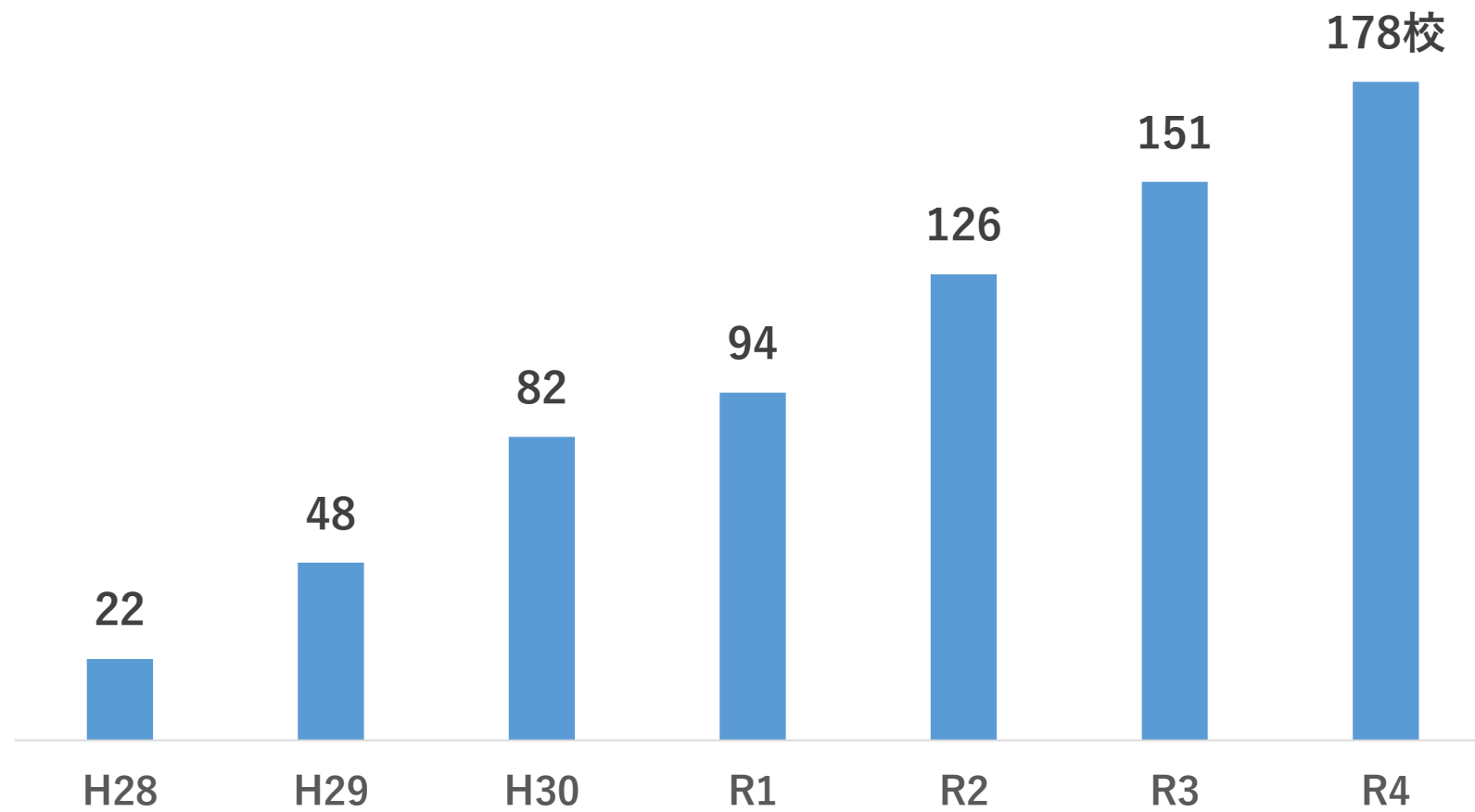
学校形態のパターン(一例)

岩内町の選択

**施設一体型 義務教育学校**

旧校舎を活用し「増築」と「リノベーション」

## 義務教育学校の学校数（全国）



## 2

## 設計の概要





# 建設地のポイント

- 01 通学環境
- 02 津波・洪水浸水想定区域外
- 03 旧校舎の活用が可能
- 04 地域との連携



## 整備手法のポイント

01 大規模改修により耐震安全性は確保

02 リノベーション

03 一部増築

新築するよりも事業費が削減

快適な学習環境の提供を可能とし  
経済性の点からも有用性が高いと判断

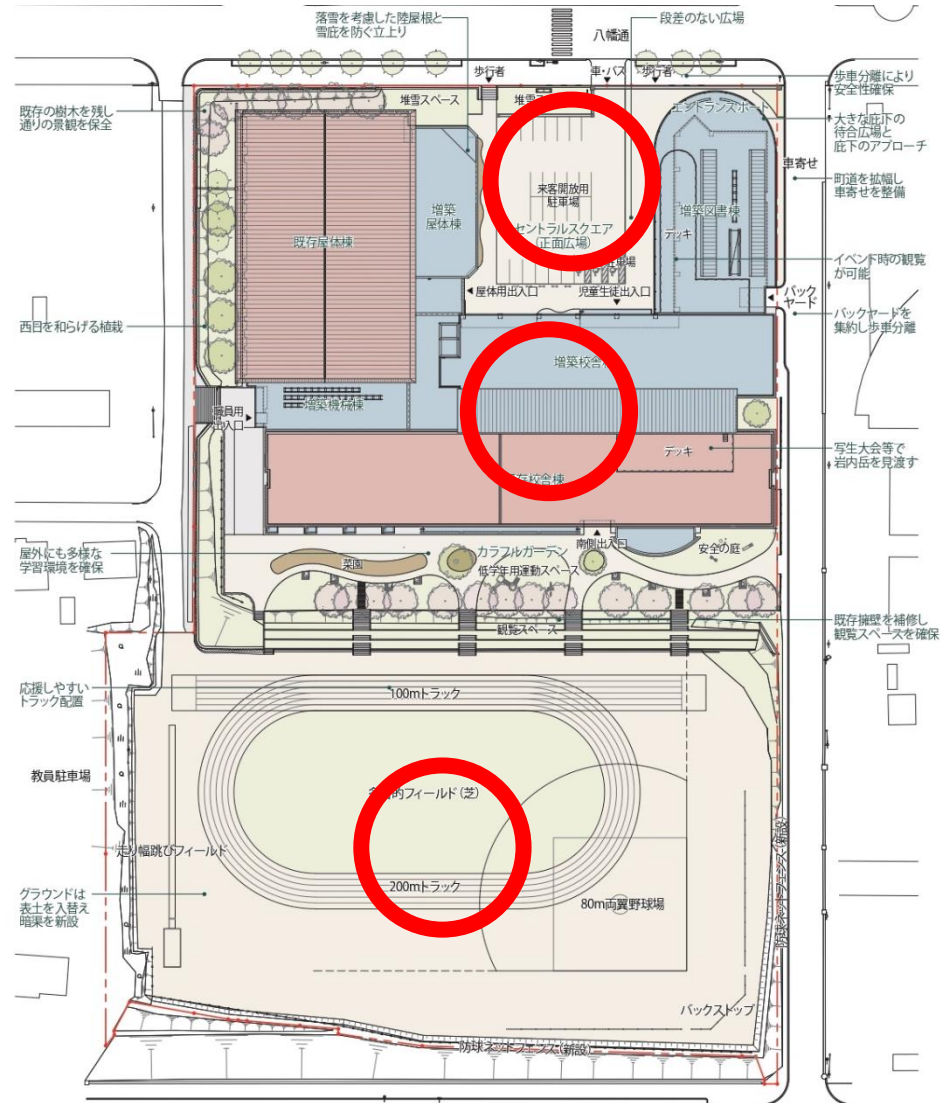


# リノベーションとは



黒松内役場庁舎の施工例

# 全体配置



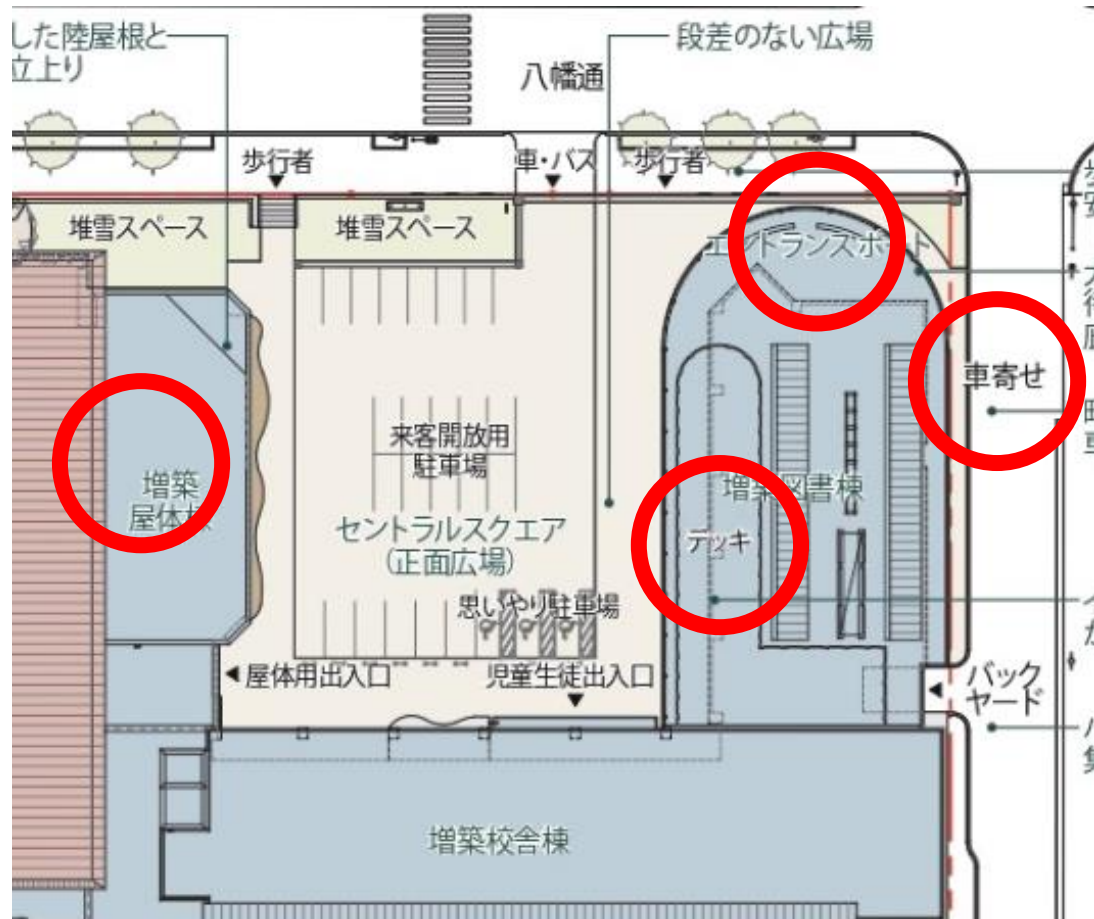
セントラルスクエア  
(正面広場)

ライトキャニオン  
(吹き抜け空間)

校舎南側・グラウンド



# セントラルスクエア（正面広場）



歩行者の安全確保  
(屋根つき通路)

送迎環境の整備  
(車寄せ)

行事等への対応  
(屋上デッキ)

落雪対策

# セントラルスクエア

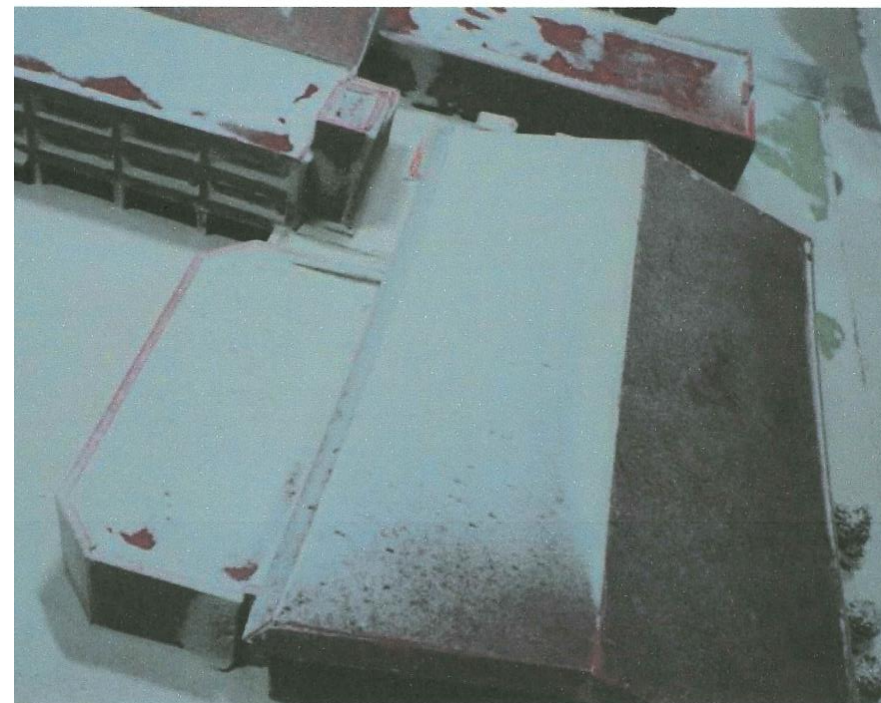
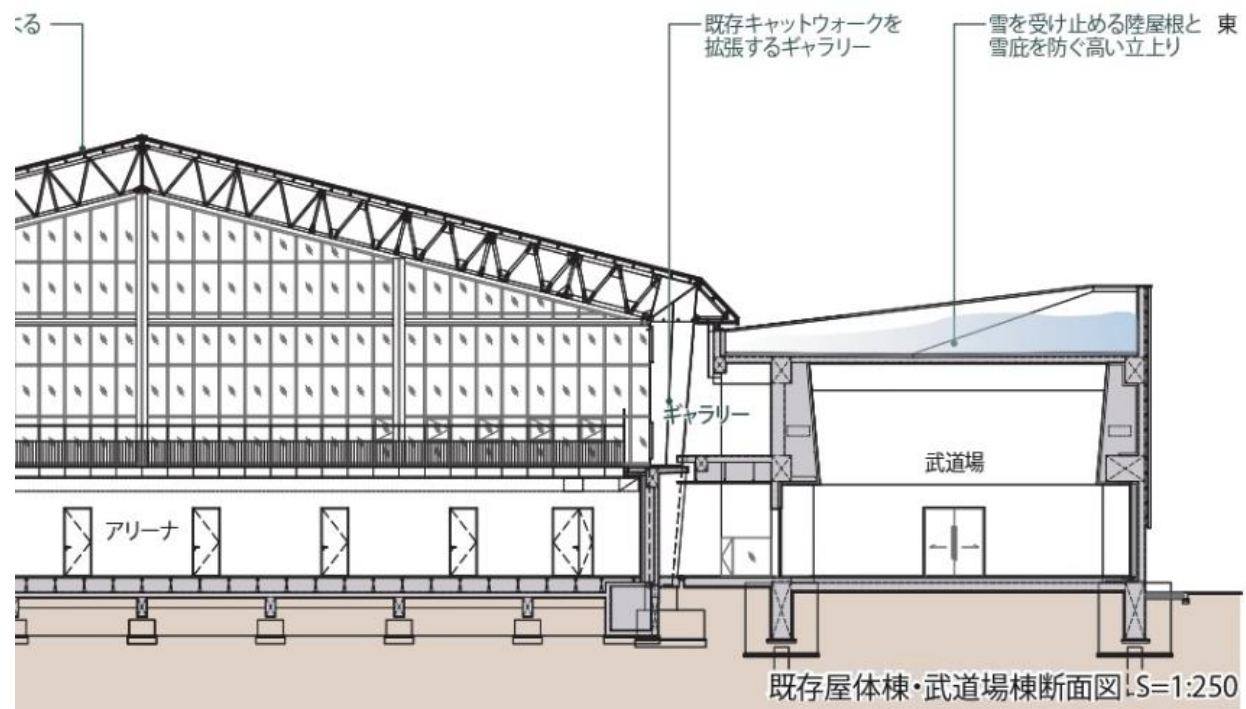
全体配置





# セントラルスクエア(落雪対策)

全体配置



# ライトキャニオン(吹き抜け空間)

全体配置

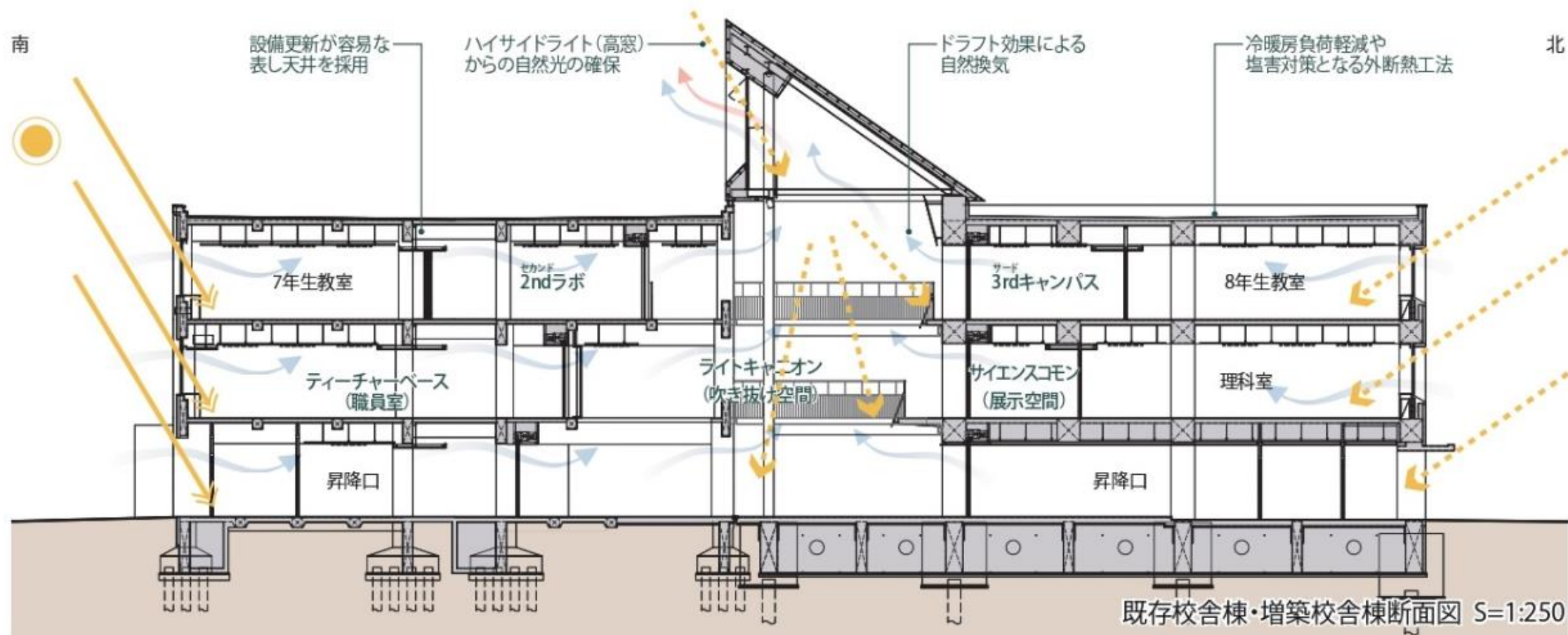


省エネルギー  
(自然採光と自然通風)

交流空間  
(行事や発表の場)

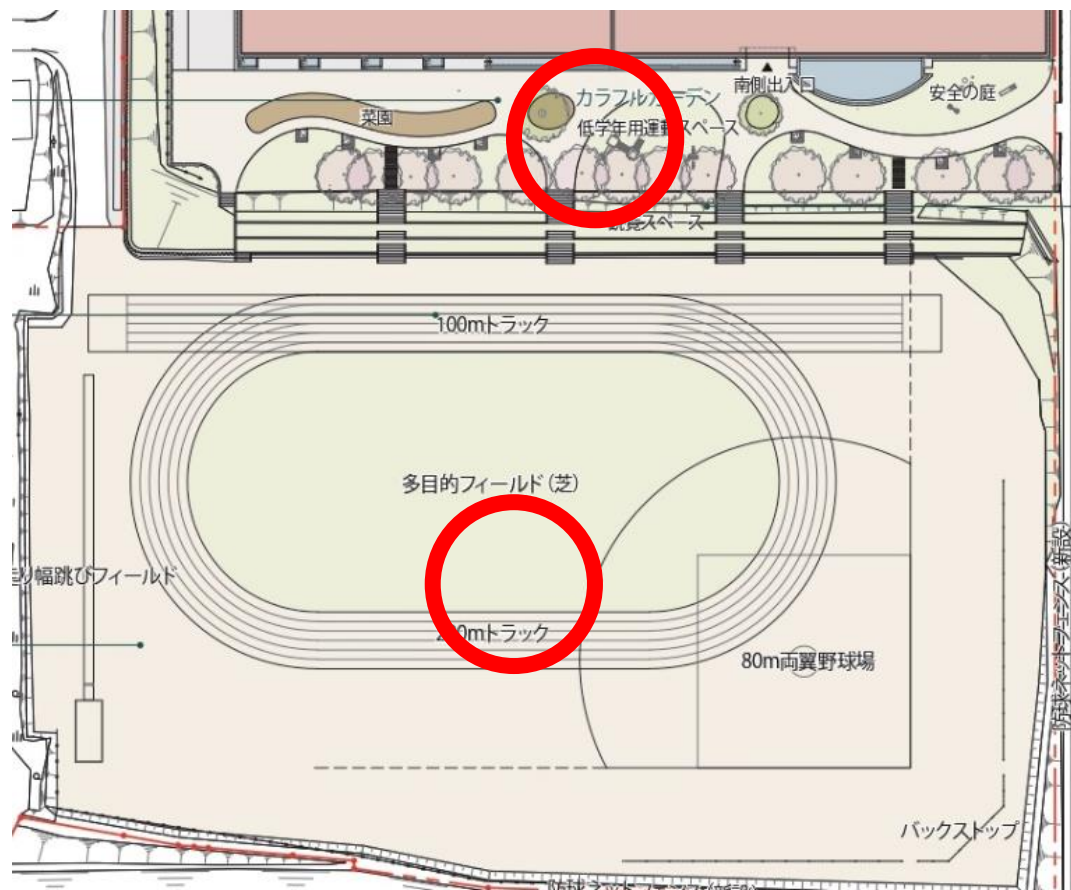
移動しやすい空間

# ライトキャニオン(吹き抜け空間)





## 校舎南側・グラウンド



全体配置

菜園、遊具  
低学年用運動スペース

グラウンドの改良  
(表土入替・暗渠管設置)

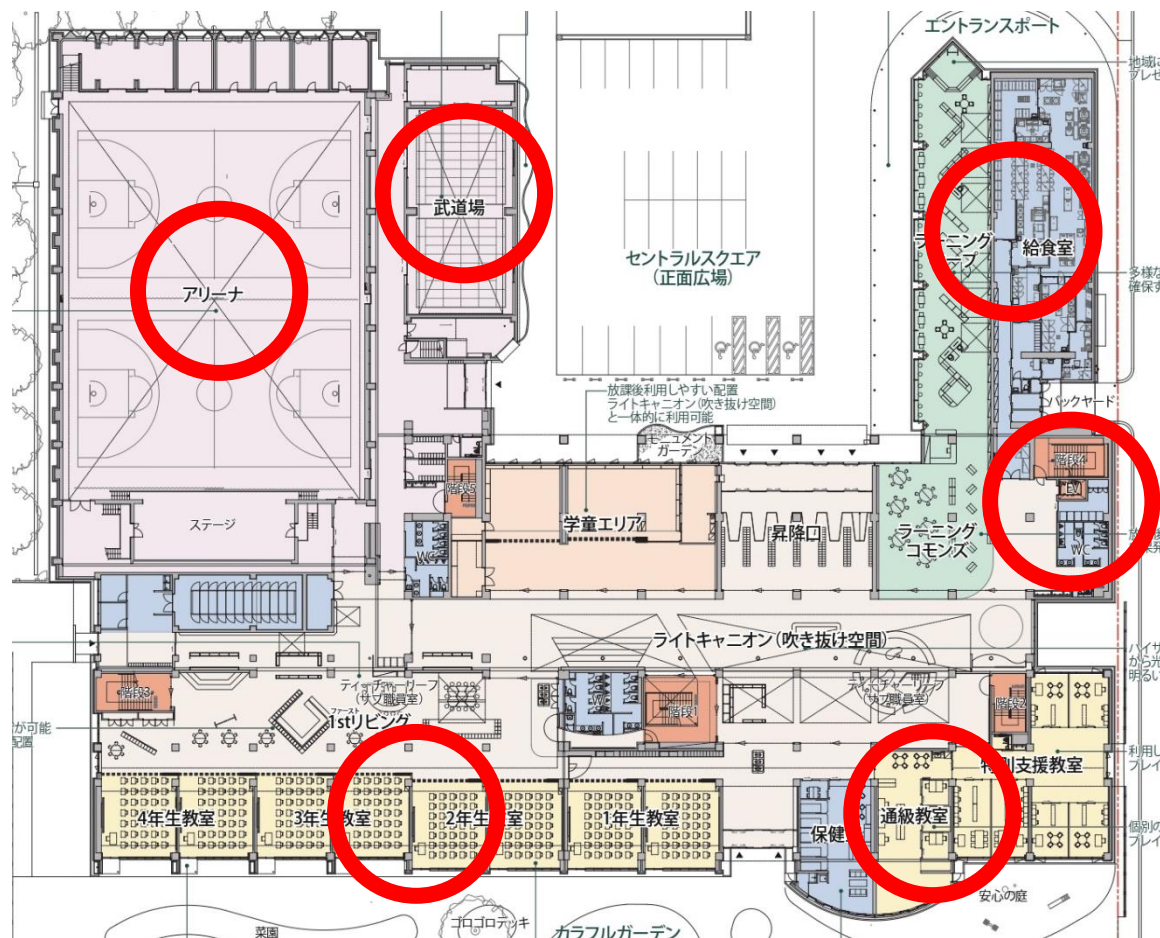
職員駐車場  
(西側 隣接地に確保)

プール  
(町民プールを活用)





# 1階 平面図



1～4年生の教室

特別支援学級  
通級教室、保健室

体育館、武道場

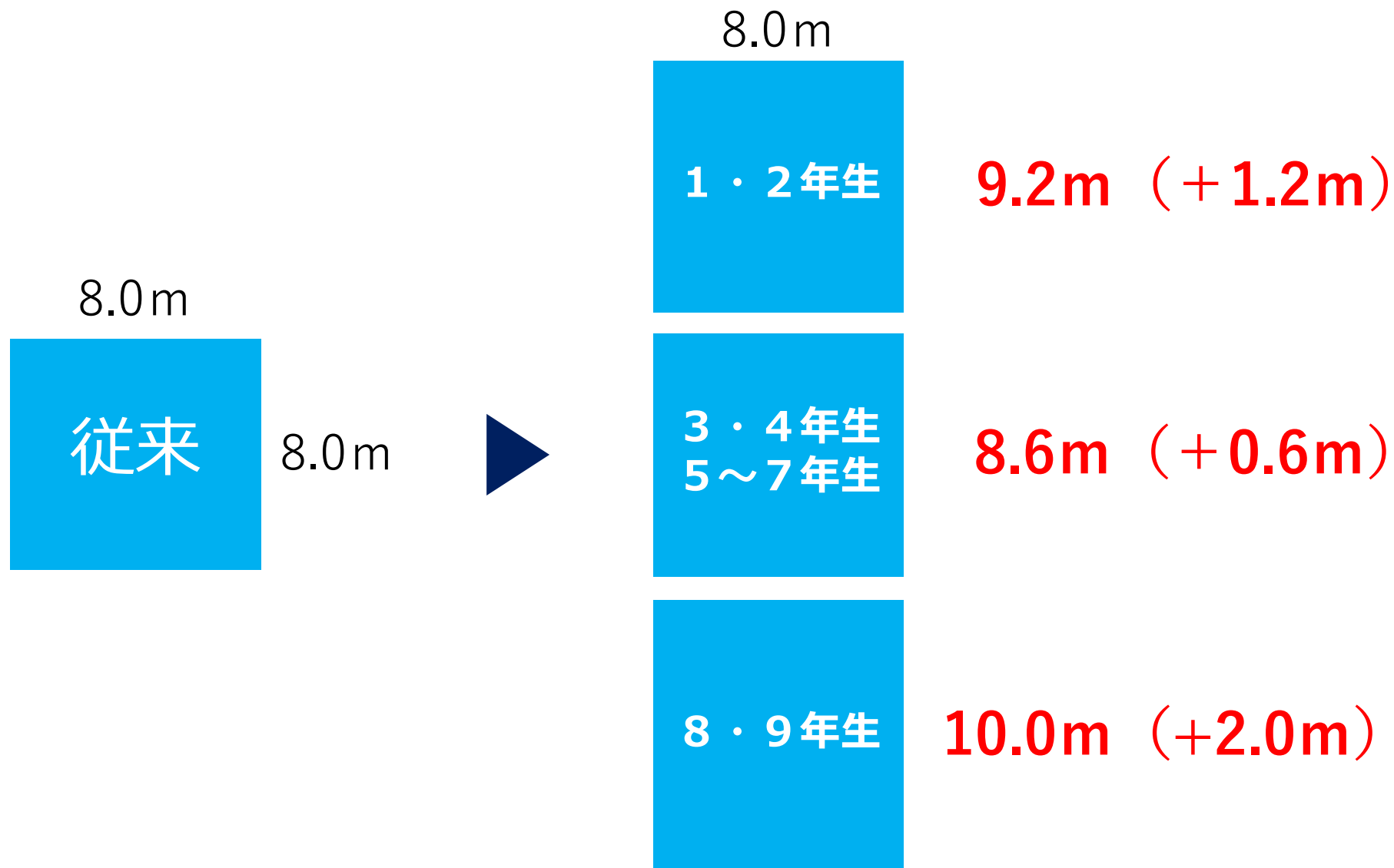
図書室、給食室

エレベーター

# 通常教室

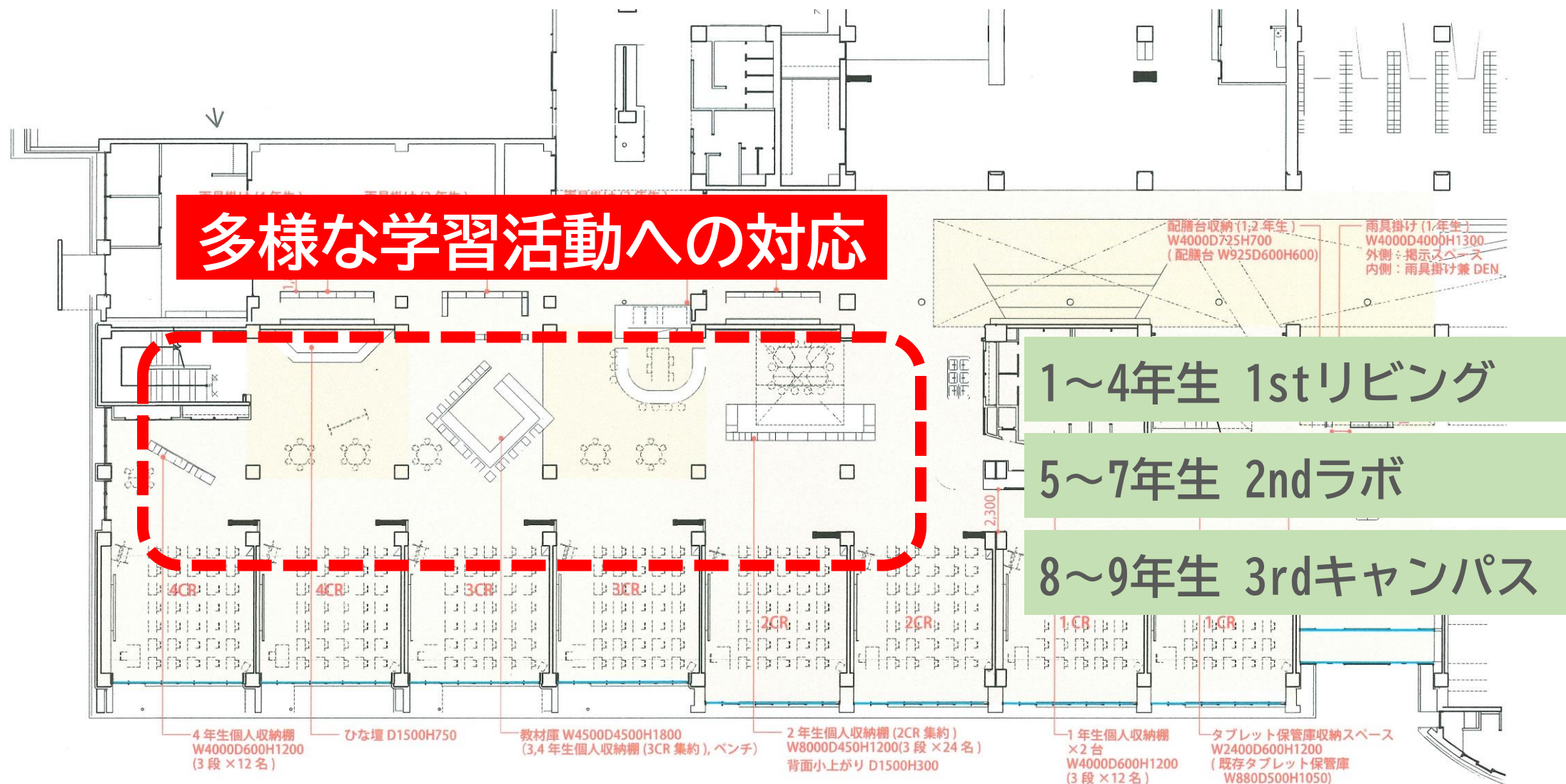
面積を拡大

1階  
平面図



# 多目的スペース

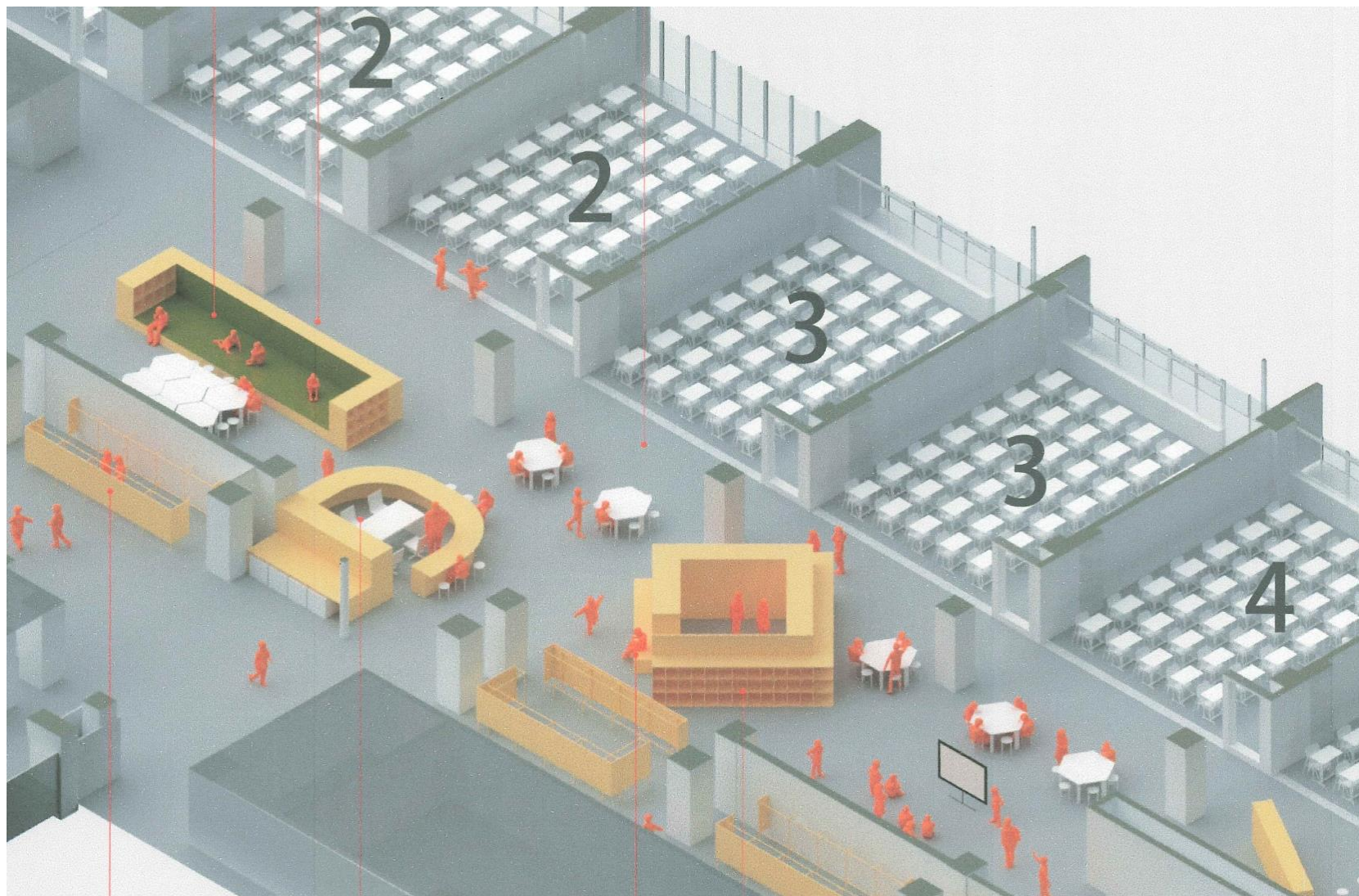
1階平面図



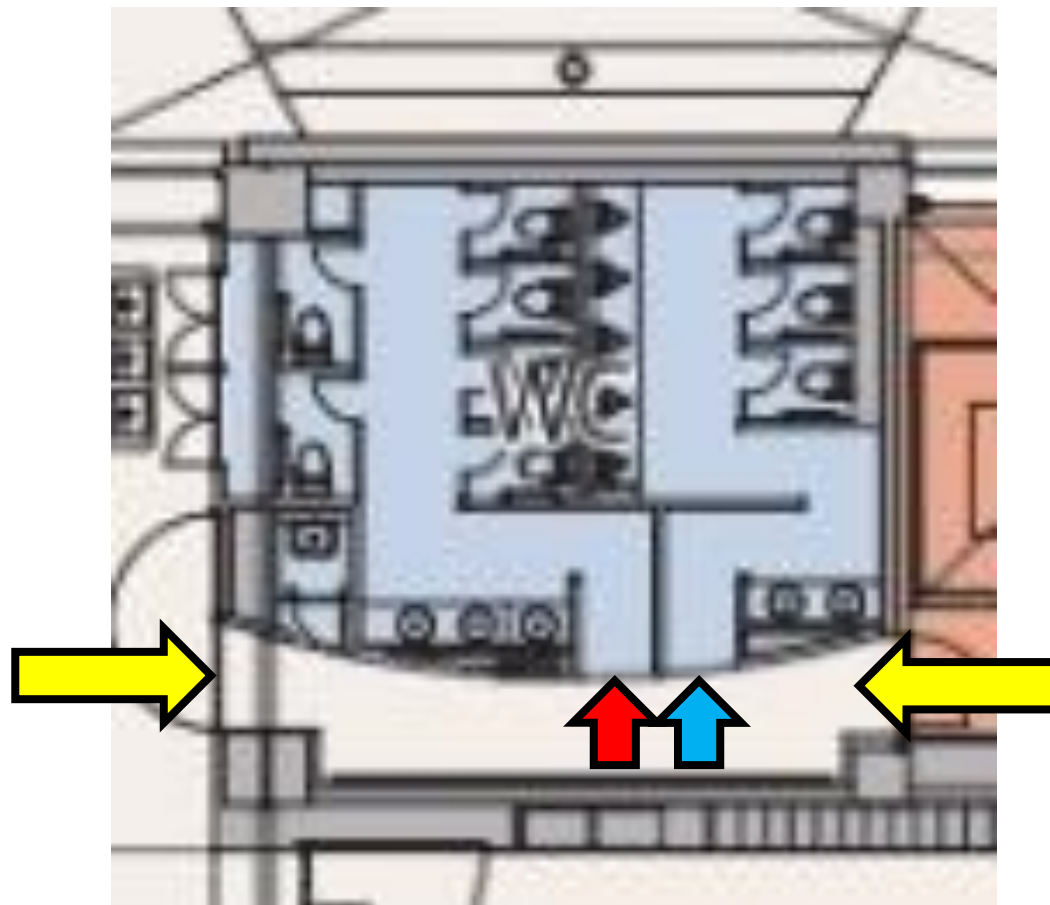


# 多目的スペース

1階  
平面図



## トイレ(中央)

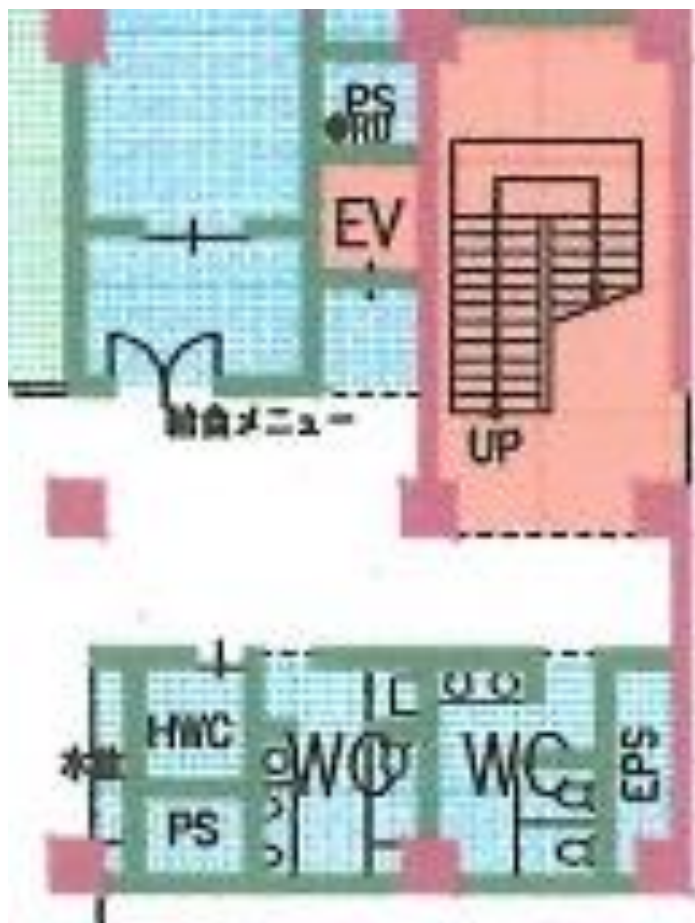


入口・配置の見直し

プライバシー保護や  
LGBTQへの対応

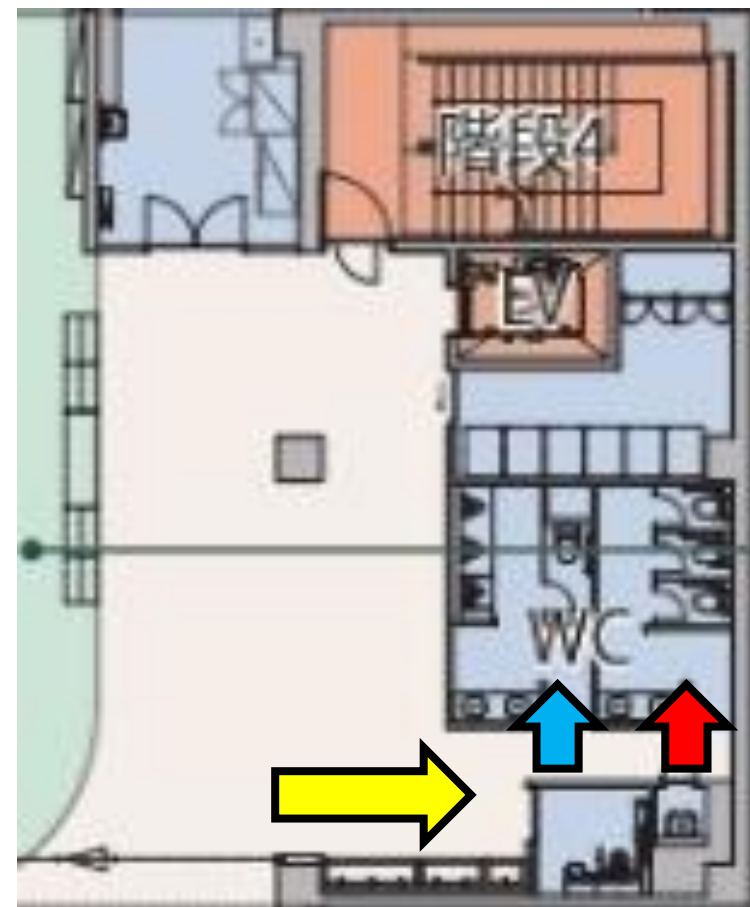
# トイレ(東)

1階平面図



個室数(女子)の拡大

入口・配置の見直し





## 図書室（ラーニングケープ）

1階  
平面図



調べ学習や成果発表の場

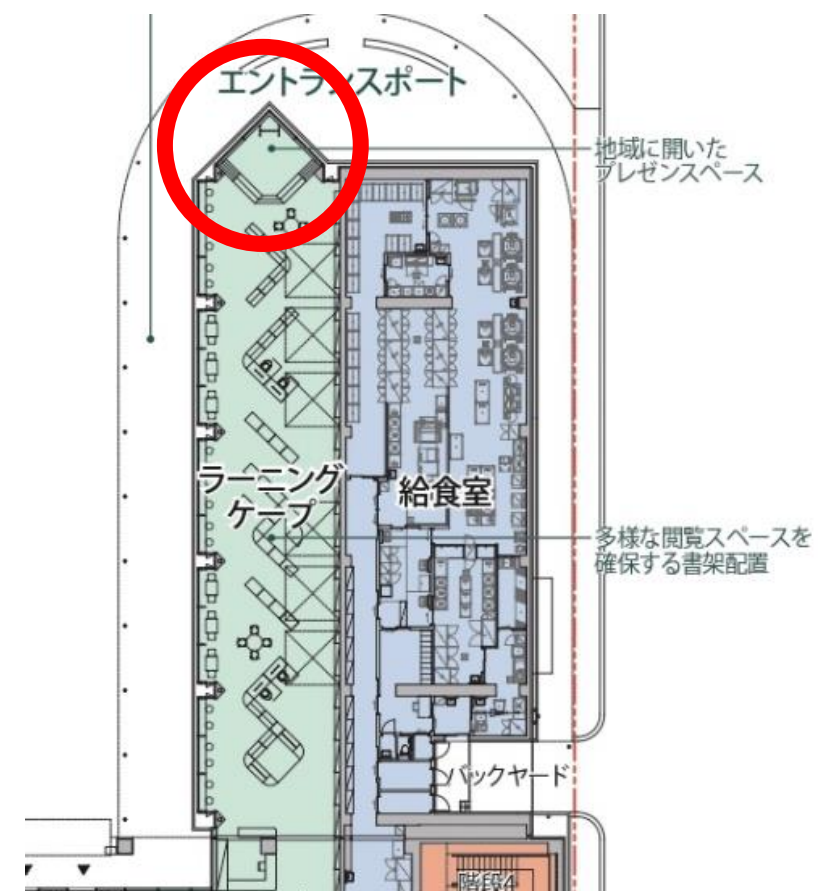
ICT導入による情報拠点

地域開放への対応



# 図書室（ラーニングケープ）

## 1階平面図



## 特別支援教室・通級教室

1階  
平面図



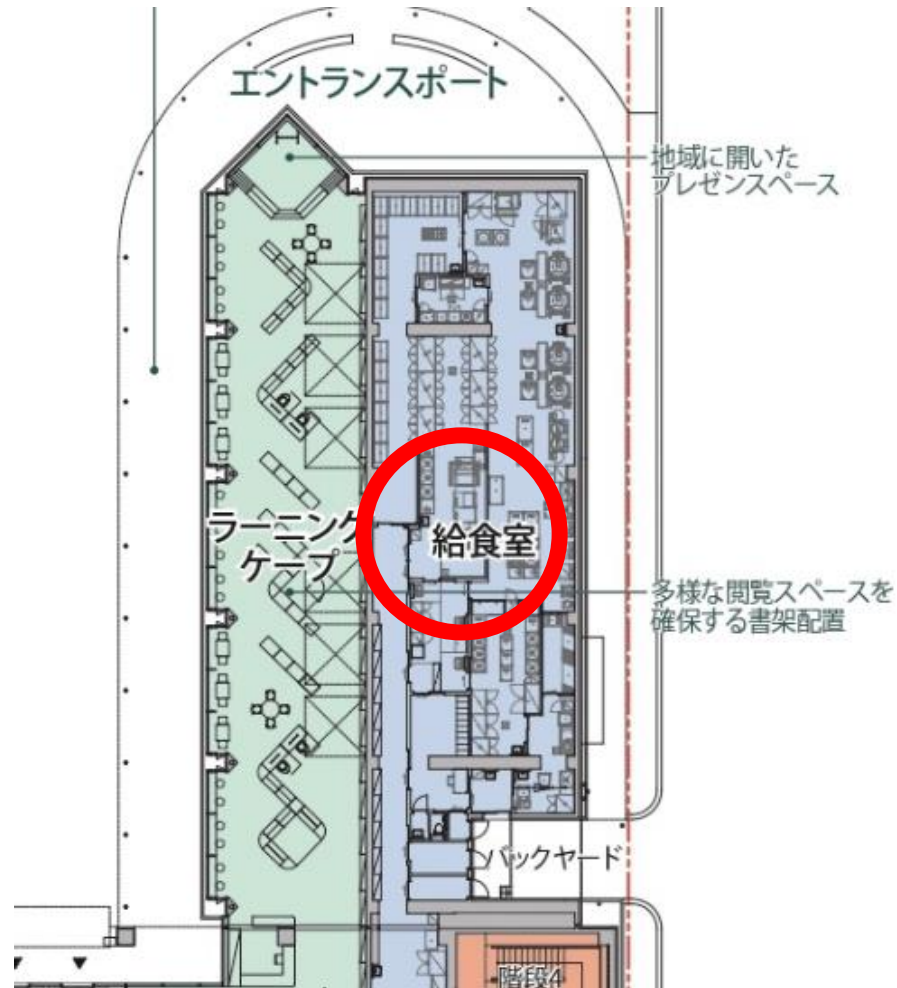
多目的トイレの設置

通級教室の充実  
(中学生の利用も想定)

保健室との連携

# 給食室

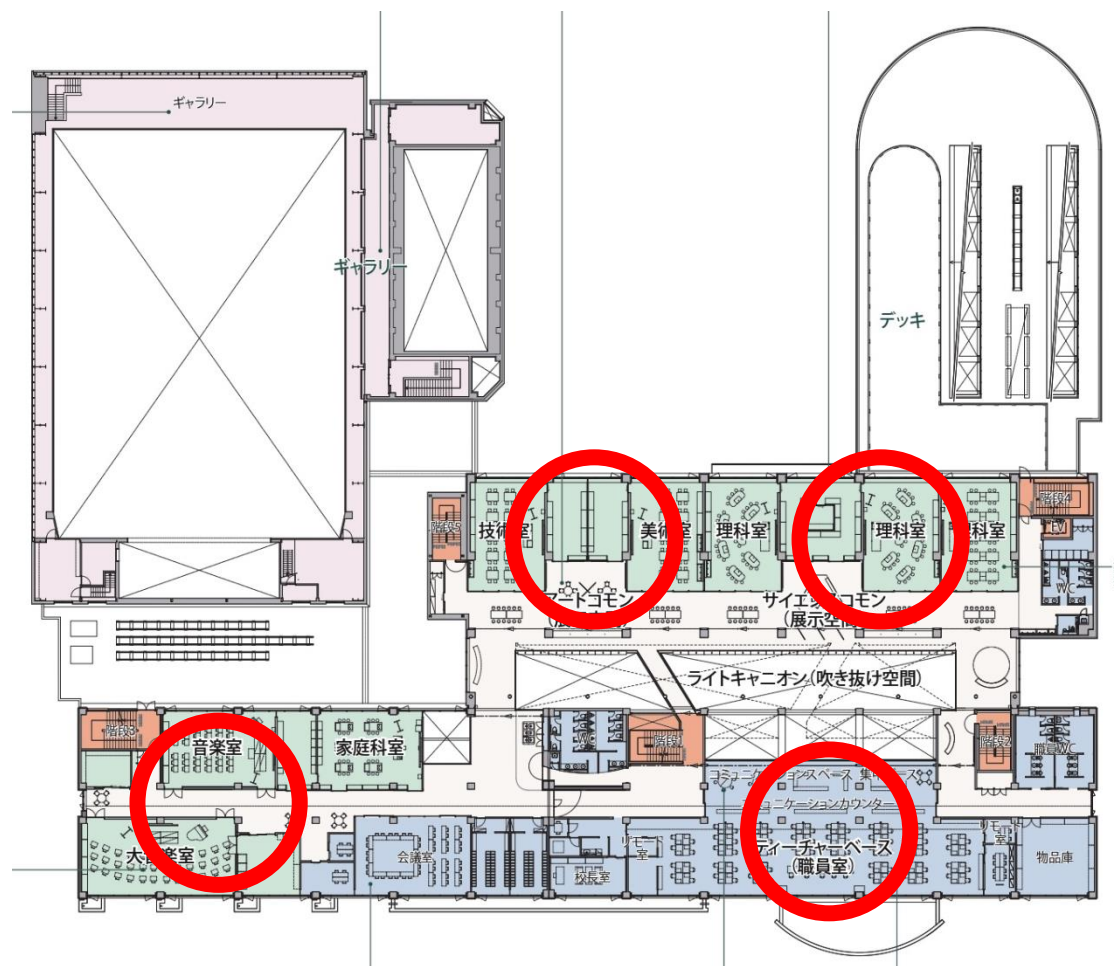
## 1階平面図



アレルギー食対応

炊飯設備の導入

## 2階 平面図

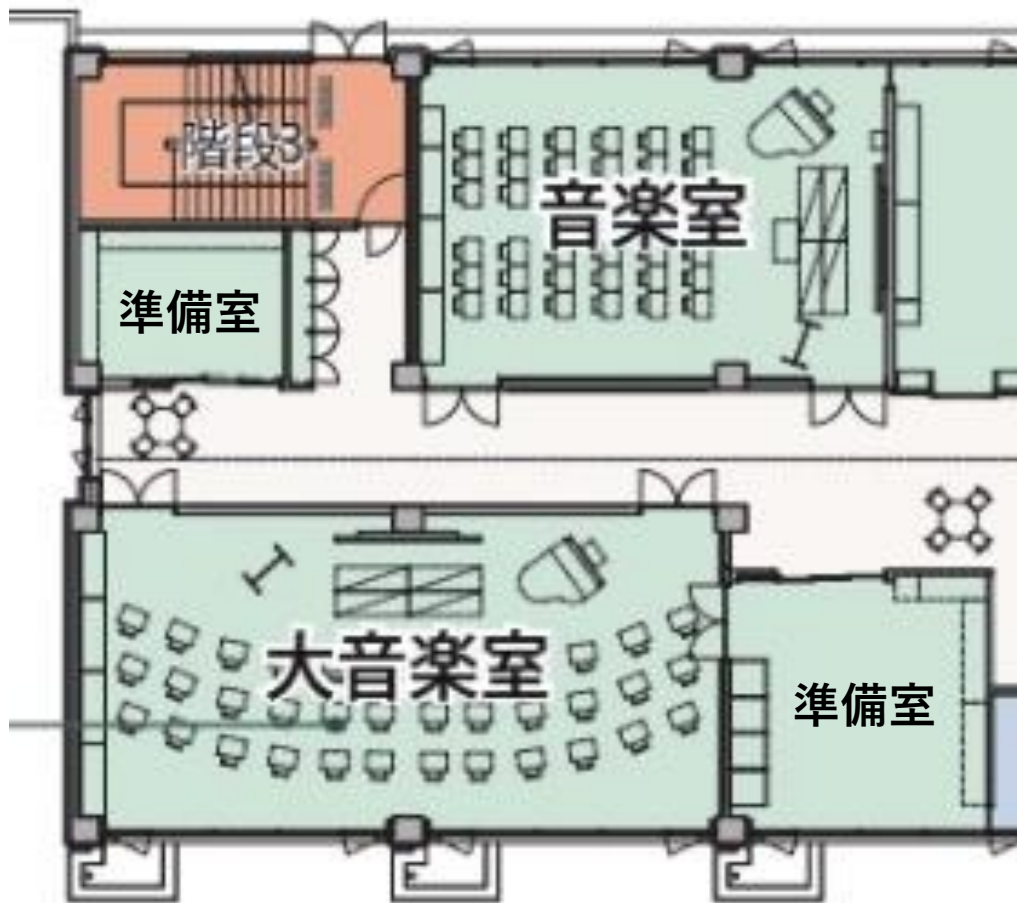


特別教室(音楽室など)

職員室、校長室



## 音楽室



2階平面図

9学年の授業に対応

部活動にも対応する  
準備室の確保

## 職員室(ティーチャースペース)

2階平面図



## サブ職員室(ティーチャールーフ)

2階平面図

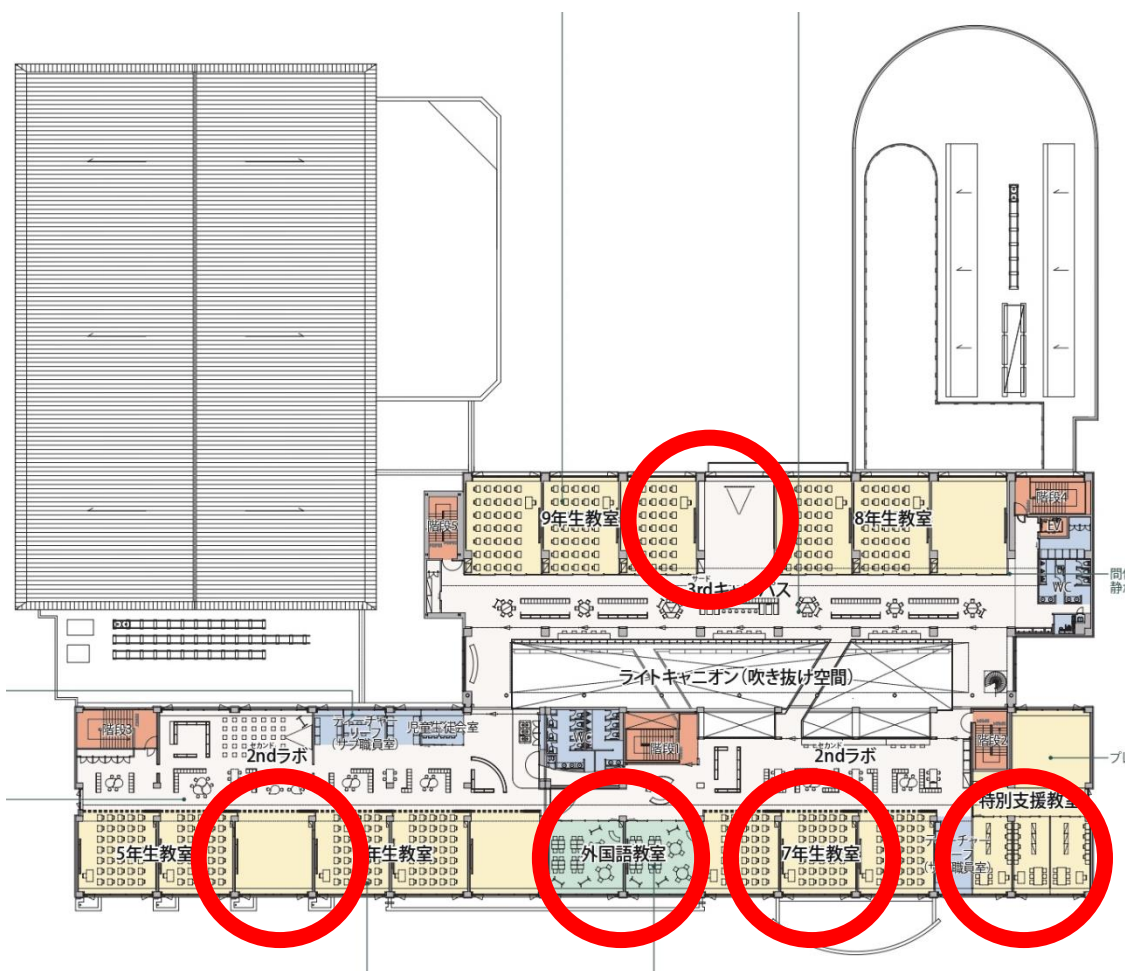


1階と3階に設置

イメージ



# 3階 平面図



5～9年生の教室

特別支援学級

外国語教室

## 外国語教室

3  
階  
平  
面  
図

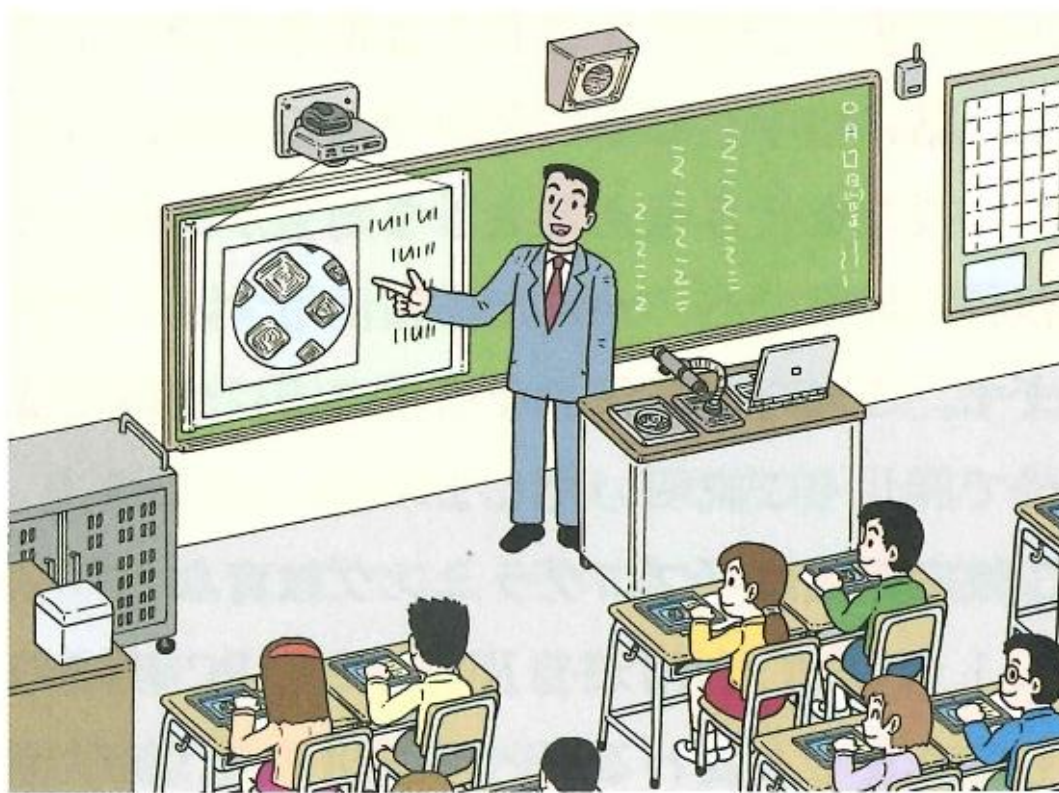


高規格なICT環境

会話や歌などへの対応

イメージ

# ICT環境整備(全般)

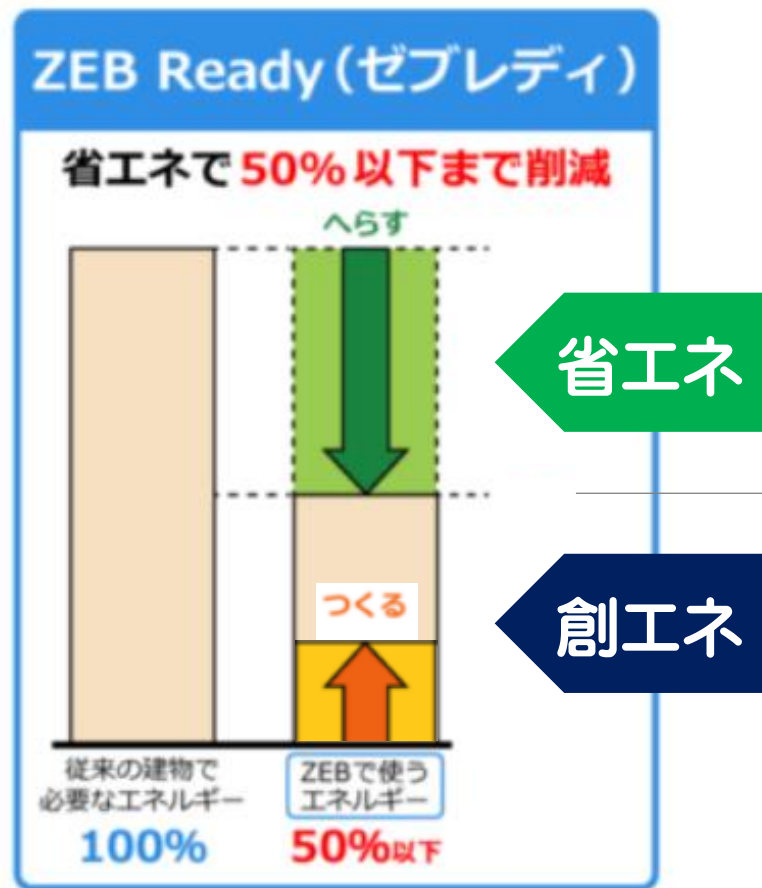


ICTを活用した  
新しい学びへの対応

施設全域の無線化(Wi-Fi)  
ICT機器導入 など



# 環境への負荷軽減



- 外断熱工法の採用
- LED照明の採用
- 高効率空調機の導入 等

- 再生可能エネルギー  
コスト比較などを検討した結果  
「太陽光パネル」を採用



## 防犯・セキュリティ

防犯カメラの設置(建物内外)

入退室 認証システムの導入検討

## 空調設備

冷房設備の導入

## 令和5年度の工事概要

- 増築棟新築工事  
基礎工事（杭打ち）
- 既存(校舎・屋体)大規模改修工事  
床や壁の一部解体と内外部の仕上げ、  
建具の撤去

※着工は9月下旬を予定しております。

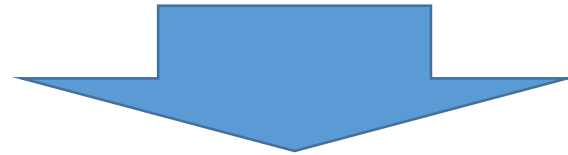
## 3

## めざす学校像

深い関係性

**ふるさと岩内を愛し、志たかく夢の実現に向かう**「夢を形にさせる」  
(鮮明に描いた夢の実現)「無限の可能性」をイメージ  
(広く・高く・遠くに)  
広い意味を含むことから、「ひらがな」を採用。「心のふるさと」をイメージ  
(自然豊・人情味・歴史文化・食)  
やわらかさ・親しみやすさを考慮し、「ひらがな」を採用。

- |          |          |
|----------|----------|
| ○ 児童生徒の声 | ○ 保護者の思い |
| ○ 教育委員会  | ○ 教職員    |
| ○ 開校準備委員 | ○ 地域の声 等 |

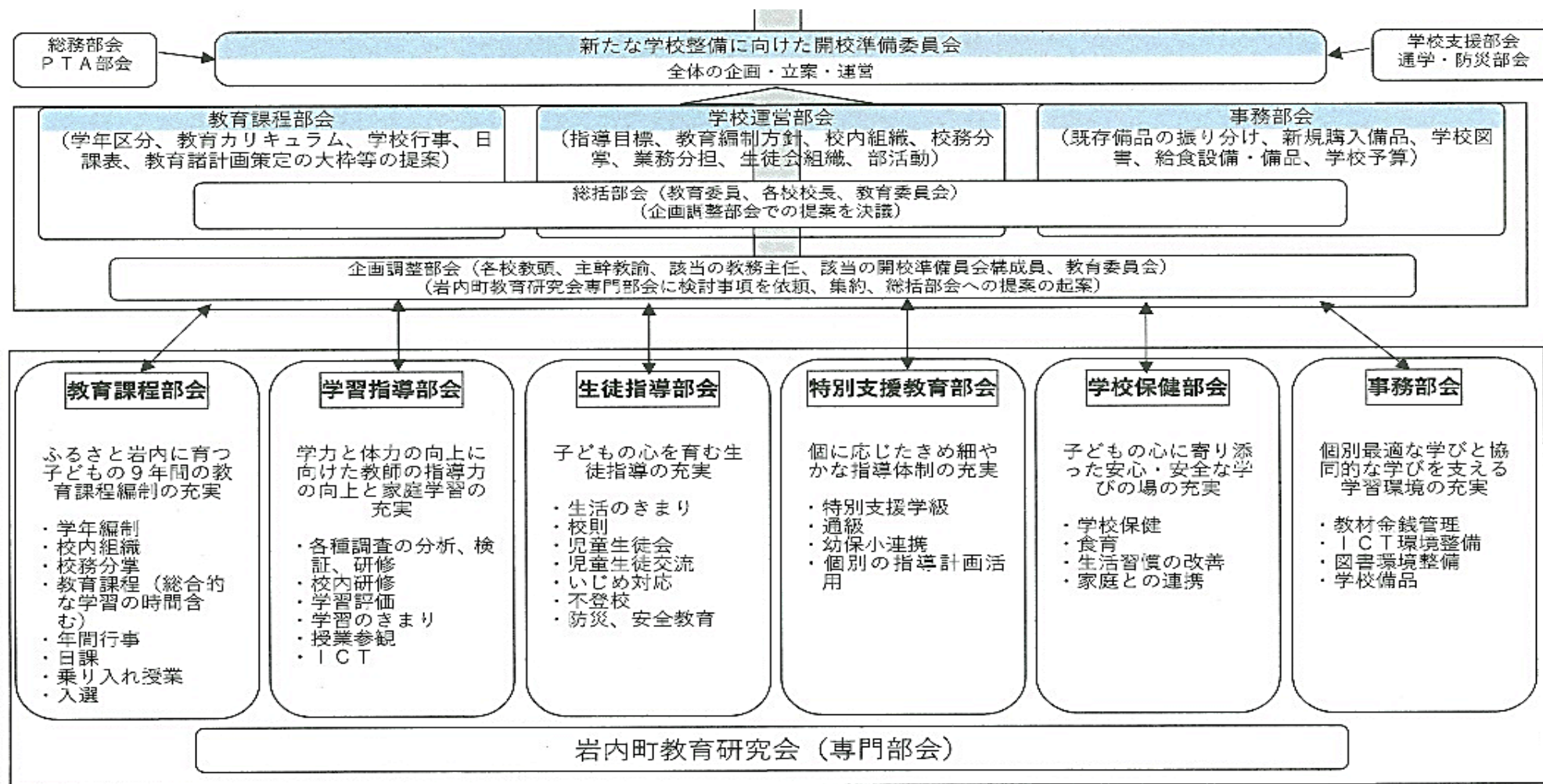


これらを踏まえた具体的な検討体制を整備

情報の収集・共有・発信の仕組みづくり

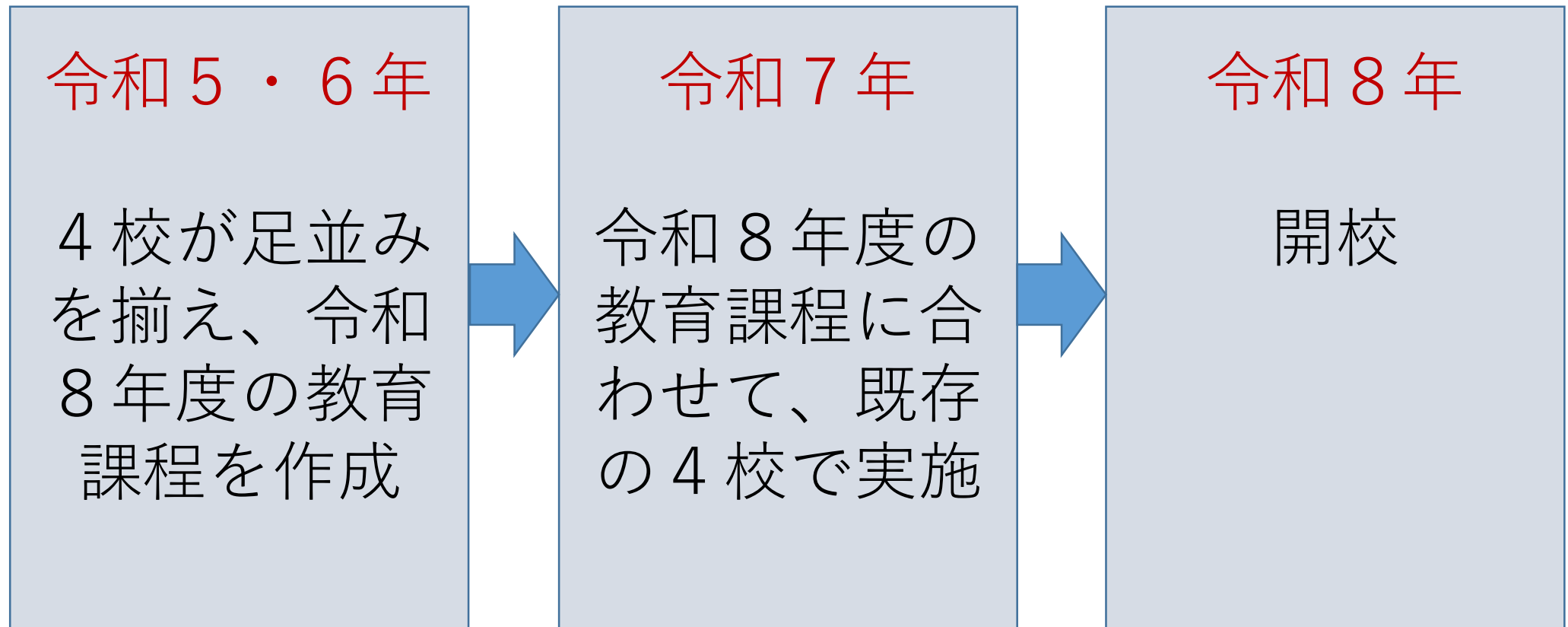


# 誰が、どうやって教育課程を作るのか、再編、共有

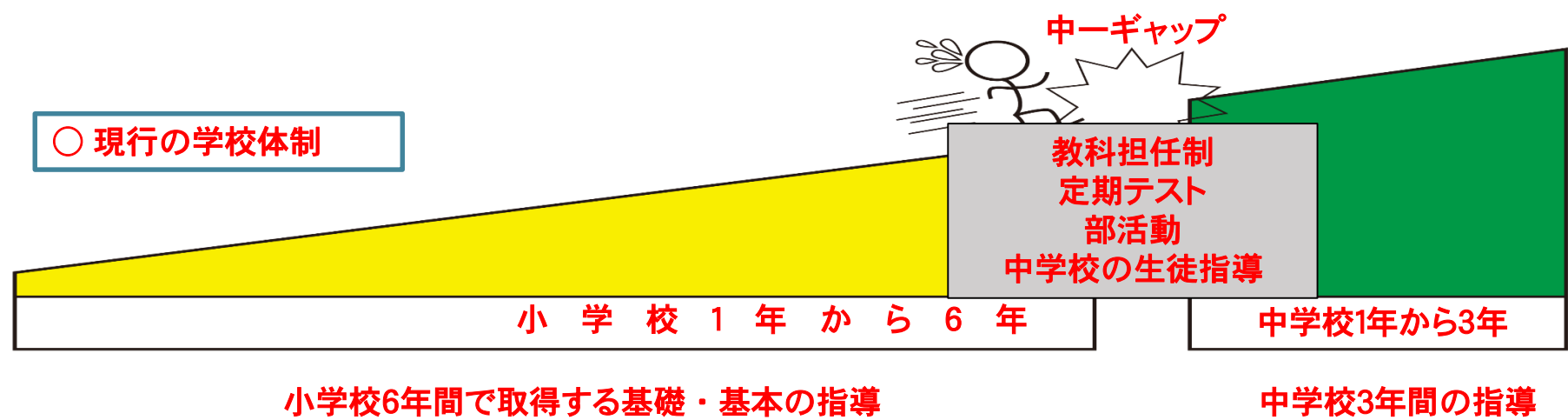


# 令和8年までの道筋（ロードマップ）作成

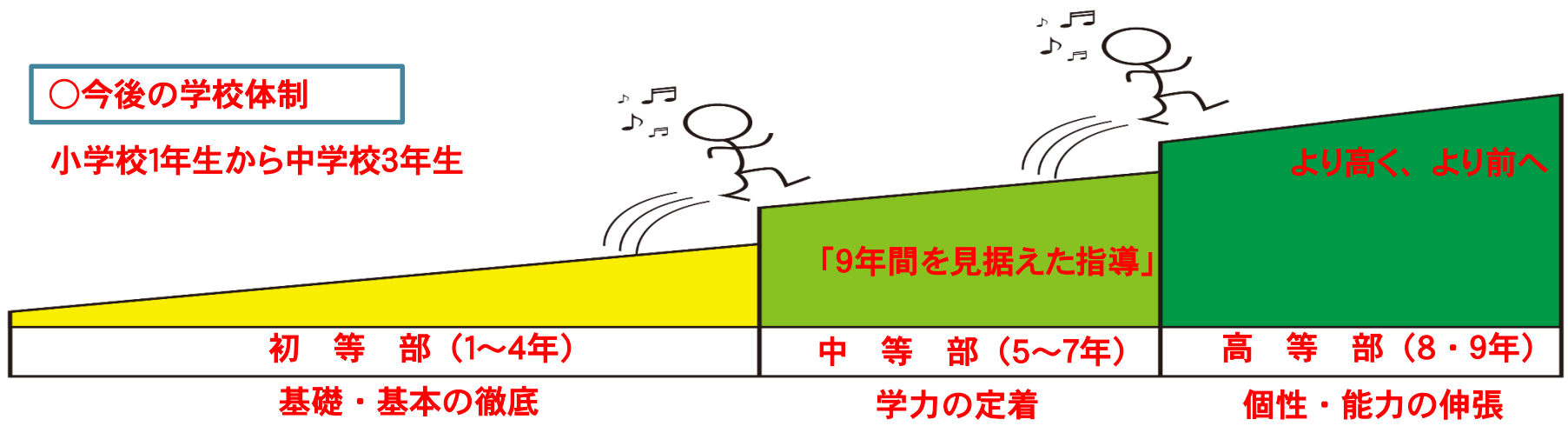
【新しい学校ができたときに、子ども達がつまずくことなく学びが継続すること】

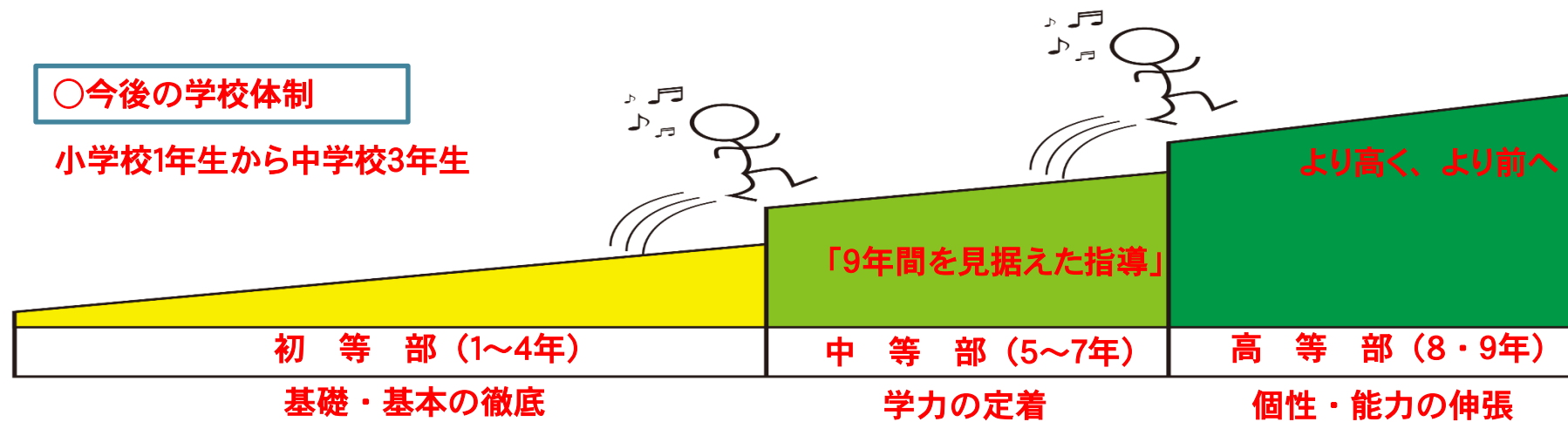


○ 現行の学校体制



○ 今後の学校体制





Q : 具体的にはどんなメリットがあるの？

A : ①スモールステップによる中1ギャップの解消

②9年間の系統的な指導による学力向上

③地域の特性に合わせた教育の実施



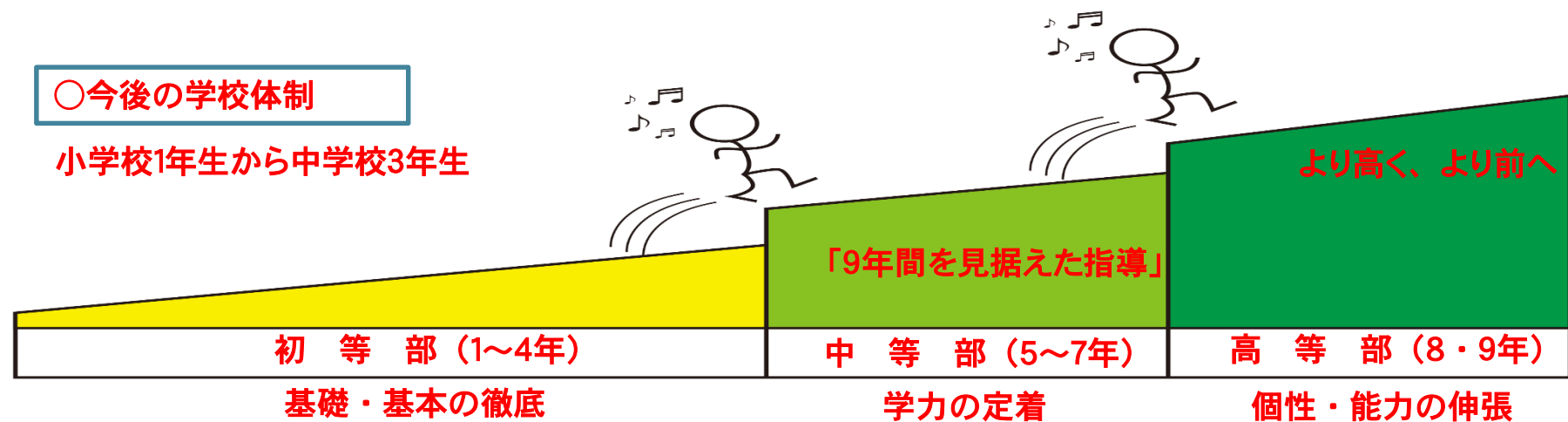
## 子ども達や保護者の意見

### 中1ギャップにおける不安に思うこと

	勉強の進め方や 定期テスト	部活動	先輩との関係	友達との人間関 係	生活指導の厳し さ
小学校高学年	34.9%	26.5%	22.9%	21.7%	20.5%
保護者	40.5%	16.2%	20.3%	29.7%	4.1%

※令和元年度これからの学校づくりのためのアンケート調査より

○ 9年間の教育課程において、これらの  
ギャップ解消のため、スモールステップに  
していくことができる。



Q : デメリットはないの？

A : ①小学校卒業の達成感がない

②リーダーシップの機会の減少

③9年間の人間関係の固定化

④従来の学校との整合性、互換性

Q：デメリットはないの？

A：①小学校卒業の達成感がない

→前期課程修了式等の工夫

②リーダーシップの機会の減少

→各ブロックの行事等の工夫

③9年間の人間関係の固定化

→縦割り班活動や地域の方との交流の工夫

④従来の学校との整合性、互換性

→学習指導要領に基づく内容は変更なし

開校した  
学校からは、  
様々な工夫で  
デメリットが  
解消できると  
いう声も

岩内中央学園の特色として、例えば・・・

(1) 岩内町を深く知り、愛する気持ちを育む

### **「まちづくり科」**の実施

- ・ 1年生から9年生までをつないだ  
独自教科の編制
- ・ 地域の教育力を活用した学習



例えば・・・

(2) 入学前から高校卒業までの**15年間を**  
**見通した英語教育**の実践

- ・ 幼保小中高までの系統立てをした  
教育課程の編制
- ・ 実践につながる乗り入れ授業

例えば・・・

(3) 地域と連携し子どもの**「やりたい」を  
形にした部活動**

- ・ 児童生徒アンケートに基づく  
子ども達の声をもとに形にする地域連携
- ・ 9年間を通して様々な体験をする  
機会の設定

## 今後の検討事項

- 入学式や卒業式はどうなるの？
- 運動会や学芸会はどうなるの？
- 定期テスト等は従来通り？
- 教科担任制になるの？
- 生活のきまりや校則はどうなるの？
- 学習用具等、買いそろえるものは？
- 通学手段はどうなるの？ などなど・・・

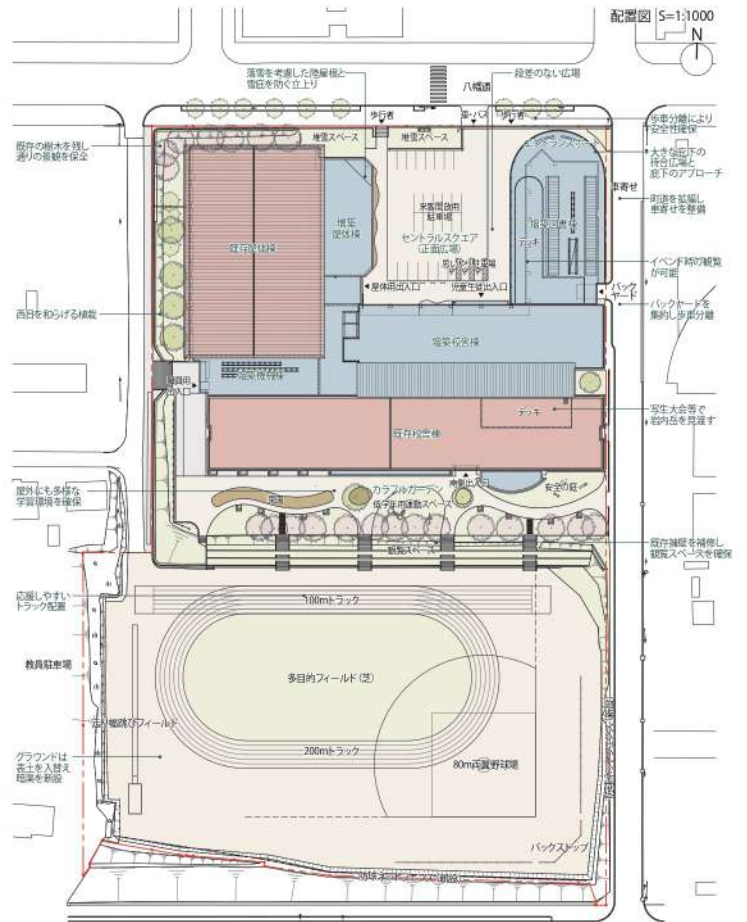
## 配置計画

### 基本的な考え方

- ・既存校舎北側に3階建増築校舎棟、敷地東側に平屋建増築図書棟、既存屋体棟東側に2階建増築屋体棟を配置し、岩内岳を背後に望む開かれた学校の顔となる「セントラルスクエア(正面広場)」を中央に設けます。
- ・「セントラルスクエア(正面広場)」には昇降口、一般開放用玄関、学童保育用玄関等を配置します。学童保育、図書室、武道場(サブアリーナ)等が隣接し子供たちの活動が垣間見える広場となります。
- ・敷地内は車両と歩行者の入口を分け動線が交錯しない計画とします。東側町道の車寄せと連続する「エントランスポート」を設け日常的な送迎のしやすい環境を確保します。また給食搬入のバックヤードは東側にまとめ車両通行や広場側の安全性に配慮します。

### 屋外施設の計画

- ・「セントラルスクエア(正面広場)」に來客開放用駐車場、隣接地に職員用駐車場を確保します。駐車場建物入口側には車椅子利用者が利用しやすい思いやり駐車場を設置します。
- ・既存校舎南側に「カラフルガーデン」を設け、屋外にも9年間の学校生活を彩る多様な学習環境を作ります。菜園、遊具、低学年用運動スペース、既存の観覧スペースと一体となった芝生エリアなどを確保します。プールについては新たに整備せず、既存の町民プールの活用を検討します。
- ・既存法面の観戦スペースを活用できるように、100mトラック、200mトラックを設置します。少年団活動などの利用を想定し、野球場を設置します。走り幅跳びレーンも設置します。
- ・「セントラルスクエア(正面広場)」の歩道及び來客用駐車場については耐久性が高く明るい印象のコンクリート舗装とします。
- ・グラウンドは表土の入れ替え、暗渠の設置を行い排水能力の向上を図ります。
- ・体育館周辺の樹木を残し、校舎南側の既存の桜を活かした既存の景観を活かす植栽計画とします。校舎南側の低学年用運動スペース周辺は芝生とします。





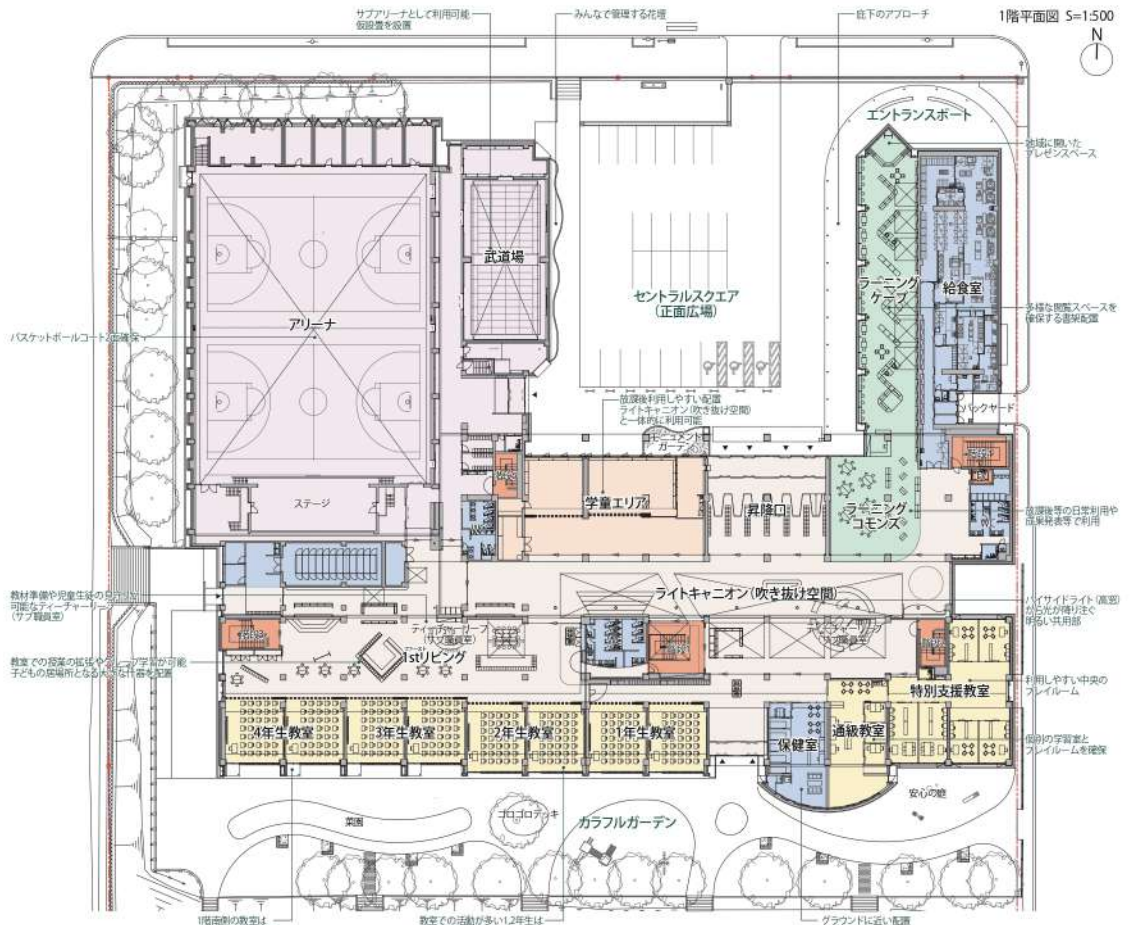
## 平面計画

### 基本な考え方

- 増築建物を既存建物に沿う形で配置し、既存建物を活かしながら9年間通う義務教育学校にふさわしい教育環境を構築します。
- 既存建物と増築建物との間のある平面に自然光を取り入れる「ライトキャニオン（吹き抜け空間）」を設置します。5つの縦動線と共に分かりやすく使いやすい骨格を作ります。
- 将来的な学年区切りの変更や学年区切りに応じたゾーニングを行えるよう教室を一定程度まとめて配置することで、子どもの成長に合わせ、それぞれの教育環境を作ります。

### 1階平面計画

- 1階は1~4年生の教室や特別支援学級の他、図書室、アリーナ、武道場、学童保育の共用機能をまとめて配置します。
- 普通教室は既存校舎南側に配置し、隣接した多目的スペース「1stリビング」を設けます。教室から広がった利用やグループ学習などが可能で子どもたちの居場所となります。
- 既存躯体棟東側に武道場を配置しサブアリーナとして連携しやすい配置とします。
- 学童保育は放課後利用しやすい昇降口付近にまとめて配置します。管理区分を明確にしつつ活動を内外で感じられる計画とします。
- 敷地東側に「ラーニングケープ」「ラーニング commons」をまとめて子ども達が登下校時に利用しやすい配置とします。調べ学習や成果発表等図書を中心とした学習が可能です。昇降口が近く地域開放にも対応します。
- 給食室は水廻りが多くダクトスペース確保のため階高が高くなるため1階東側にまとめて配置しバックヤードからの搬出入に配慮します。



## 平面計画

### 2階平面計画

- ・2階は特別教室と管理諸室をまとめ、1階や3階から児童生徒が利用しやすい配置とします。
- ・「ティーチャーベース（職員室）」にはコミュニケーションスペースを設け児童生徒が入りやすい職員室を実現します。各段階の教職員の連携がとりやすい机配置とするとともに集中ブースやリモート室などを設け、多様化する教職員の働き方に対応します。
- ・吹き抜けを中心にループ動線を設けそれぞれのエリアや階段から各室に行きやすい計画とします。
- ・吹き抜け付近に展示空間として「アートコモン」や「サイエンスコモン」を設け、特別教室の機能を拡張し、子ども達の居場所となる場所を作ります。
- ・理科室は3室まとめて配置し物品の共用に配慮します。
- ・音楽室は岩内協会病院への発音音に配慮して西側に配置します。大音楽室では岩内岳を望みながら音楽学習が可能です。2室で準備室を共用し、物品管理を容易にします。
- ・武道場2階を利用してギャラリーを拡張します。

